

2023年3月期 決算説明会



関東電化工業株式会社
(東証プライム市場 4047)

2023年5月23日

目次

I | 2023年3月期 決算の概要

II | 業績見通し・今後の動向

III | 補足資料

I | 2023年3月期 決算の概要

2023年3月期 決算のポイント

■ 2023年3月期

- 売上高・各利益とも過去最高を更新
- 販売は、下期に半導体メーカーの生産調整の影響を受けたが、数量増に加え、価格修正が進んだことで大幅な増収
- 原材料価格は、リチウム化合物・電力・タングステン・無水フッ酸などの価格が大幅に上昇

■ 2024年3月期

- 半導体の生産調整は、2023年度いっぱい続き、本格回復は2024年度を想定
- 電池材料において、前期に購入した単価の高い原材料の上期使用を想定

損益計算書

(単位:億円)

| | 2022/3 | 2023/3 | 増減 | 増減率(%) |
|-----------------|--------|--------|------|--------|
| 売上高 | 622 | 786 | 163 | 26.3 |
| 営業利益 | 111 | 129 | 17 | 16.0 |
| 経常利益 | 111 | 136 | 25 | 22.7 |
| 税金等調整前当期純利益 | 111 | 134 | 22 | 20.3 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 77 | 93 | 16 | 20.9 |
| 1株当たり当期純利益(円) | 135.12 | 163.32 | 28.2 | |

貸借対照表

(単位:億円)

| | 2022/3 | 2023/3 | 増減 | 増減率 (%) |
|-------------|--------------|--------------|------------|-------------|
| 資産 | 1,099 | 1,307 | 208 | 19.0 |
| 現金及び預金 | 267 | 223 | △43 | △16.4 |
| 営業債権 | 180 | 216 | 36 | 20.4 |
| 棚卸資産 | 131 | 239 | 107 | 82.1 |
| 固定資産(有形+無形) | 389 | 480 | 91 | 23.4 |
| 負債 | 499 | 619 | 119 | 24.0 |
| 有利子負債 | 309 | 377 | 68 | 22.3 |
| 営業債務 | 89 | 106 | 17 | 19.5 |
| 未払法人税等 | 26 | 27 | 1 | 3.9 |
| 純資産 | 599 | 687 | 88 | 14.8 |
| 自己資本比率(%) | 53.0% | 51.6% | △1.4% | |

■ポイント
現金及び預金の水準
 現預金は主に成長投資の支払いに充当する計画であり、現預金水準は妥当と判断している

棚卸資産増加の理由
 リチウム化合物の市況価格が大幅に上昇したため、単価影響で棚卸資産が増加している

基礎化学品事業部門

(単位:億円)

| | 2022/3 | 2023/3 | 増減 |
|------|--------|--------|----|
| 売上高 | 79 | 94 | 14 |
| 営業利益 | △0 | 3 | 3 |

【売上高】

- ・か性ソーダ・・・販売数量は減少したが、価格修正効果により増収
- ・塩酸・・・販売数量は減少したが、価格修正効果により増収
- ・トリクロールエチレン・・・販売数量は減少したが、価格修正効果により増収
- ・パークロールエチレン・・・販売数量は減少したが、価格修正効果により増収

【営業利益】

- ・原燃料価格の上昇を価格修正で吸収し、黒字転換

精密化学品事業部門

(単位:億円)

| | 2022/3 | 2023/3 | 増減 |
|------|--------|--------|-----|
| 売上高 | 490 | 639 | 149 |
| 営業利益 | 100 | 114 | 14 |

【売上高】

- ・三フッ化窒素・・・販売数量は減少したが、価格修正効果により増収
- ・六フッ化タングステン・・・販売数量の増加により増収
- ・ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン・・・販売数量の増加により増収
- ・六フッ化リン酸リチウム・・・価格修正効果により増収

【営業利益】

- ・原燃料価格の上昇、減価償却費の増加を上回る増収効果により増益

鉄系・商事・設備事業部門(連結調整を含む)

(単位:億円)

| | 2022/3 | 2023/3 | 増減 |
|------|--------|--------|----|
| 売上高 | 53 | 53 | 0 |
| 営業利益 | 11 | 11 | △0 |

【鉄系事業】

キャリアの販売増加により増収

【商事事業】

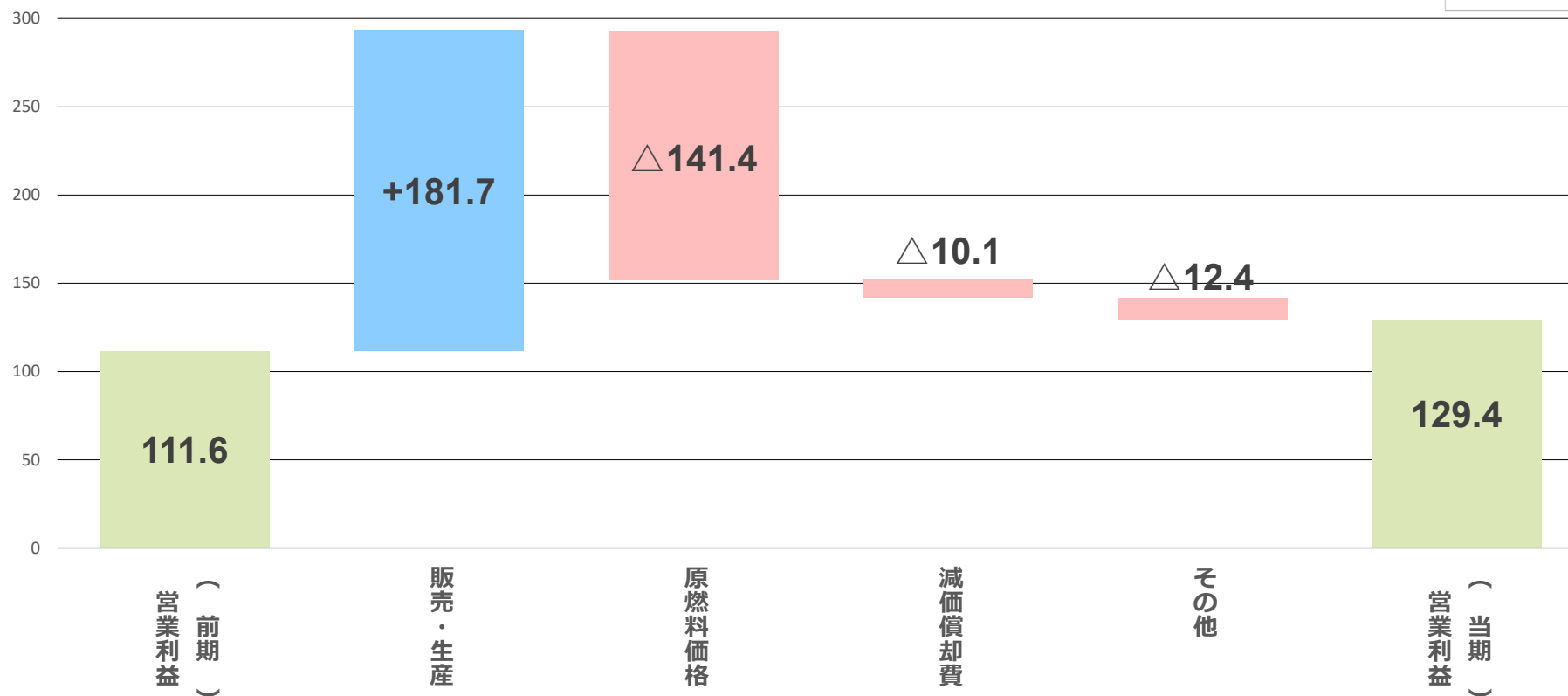
化学工業薬品の販売減少により減収

【設備事業】

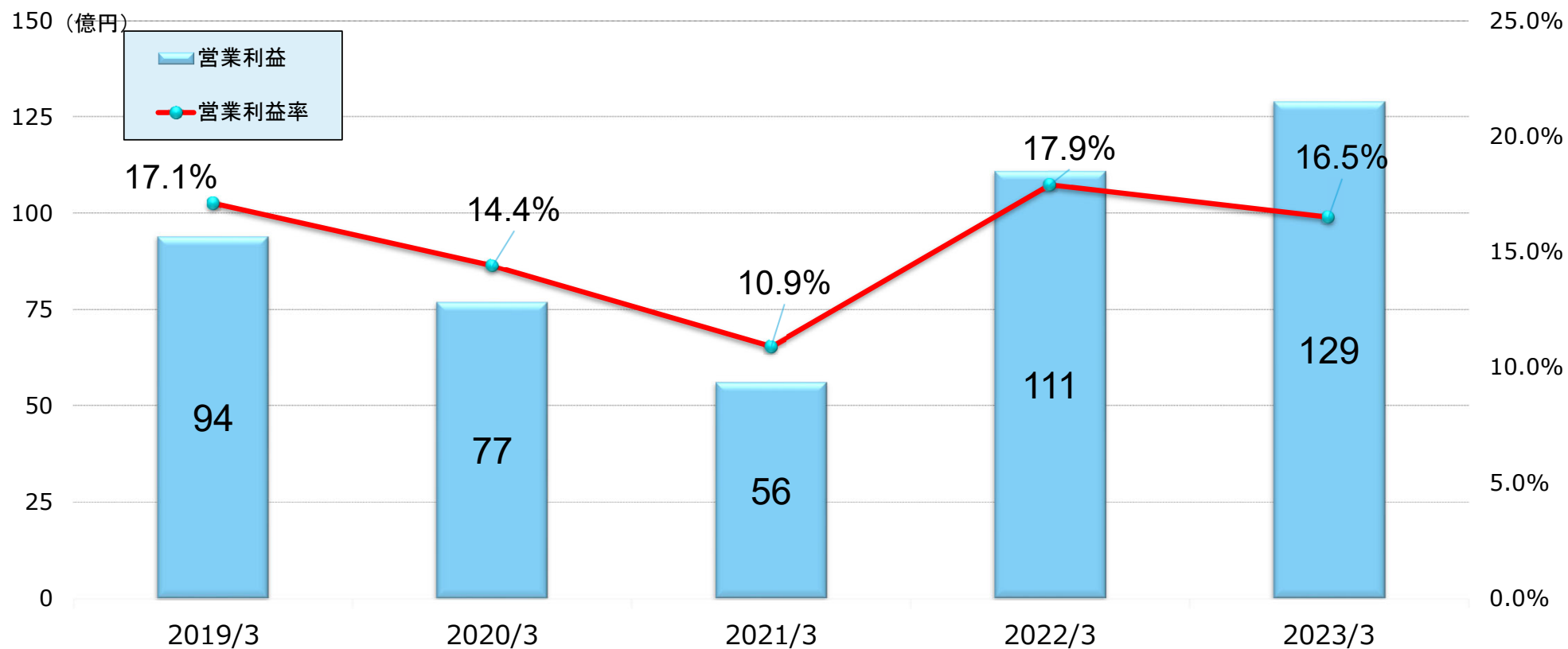
連結子会社の請負工事増加により増収

連結営業利益差異分析(2022/3 対 2023/3)

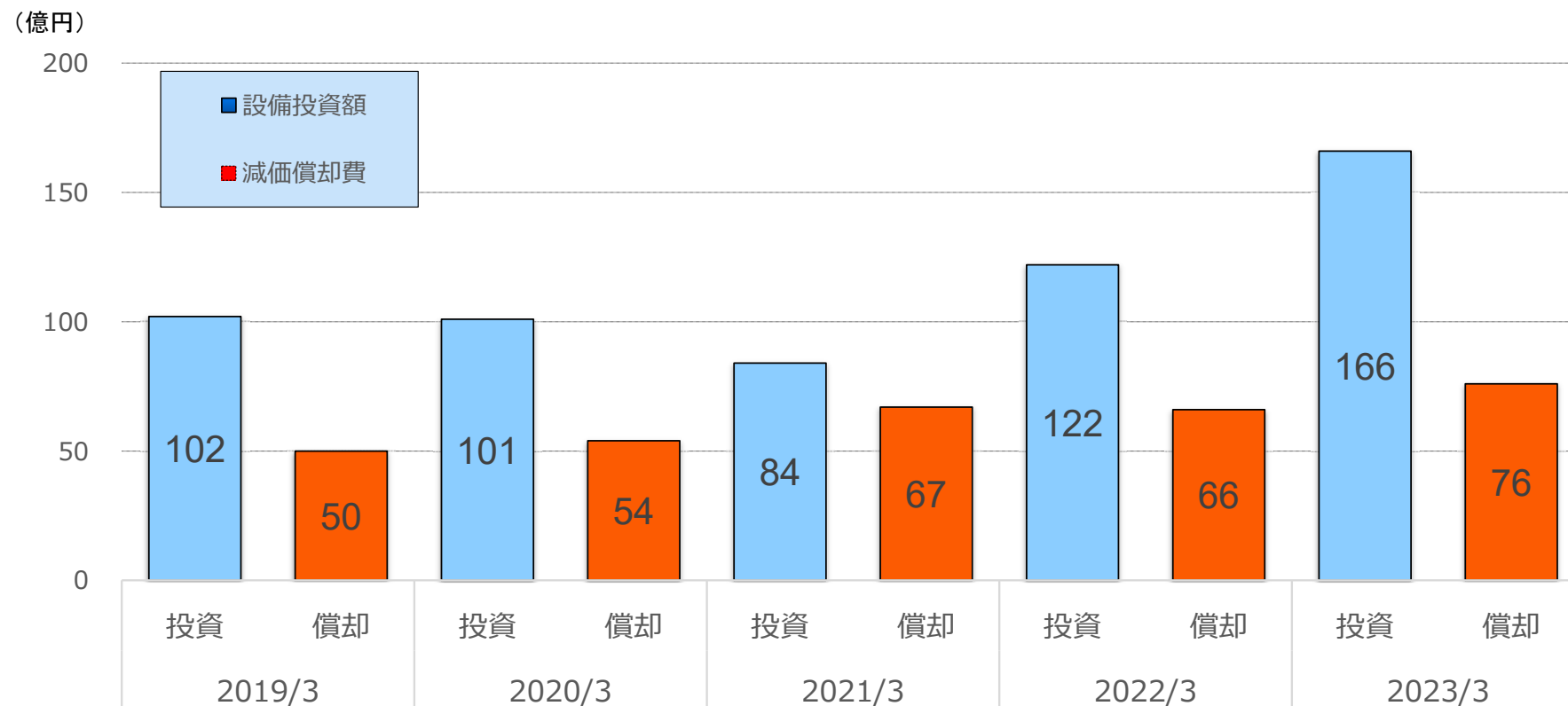
(単位：億円)



営業利益と営業利益率の推移(連結)



設備投資・減価償却費の推移（連結）



関東電化グループ(連結子会社)

| | 資本金 | 出資 比率(%) | 2023/3期 売上高(億円) | 前期比 (億円) | 主要な事業内容 |
|---------------------|---------|-------------|--------------------|-------------|----------------------------|
| 関電興産(株) | 10百万円 | 100.0 | 113 | 36 | 化学工業薬品の販売および容器整備、 保険代理店 |
| (株)上備製作所 | 120百万円 | 49.4 | 59 | 15 | 化学工業用設備の製作・加工・修理 |
| (株)関東電化ファインテック | 27百万円 | 100.0 | 6 | △0 | 鉄酸化物の製造販売 |
| 関東電化KOREA | 3億ウォン | 100.0 | 149 | 18 | フッ素系製品の販売 |
| 台湾関東電化股份有限 公司 | 7百万NTドル | 100.0 | 69 | 19 | フッ素系製品の販売 |
| 関東電化ファインプロダ クツ韓国 | 420億ウォン | 100.0 | 32 | 8 | フッ素系製品の製造・販売 |
| 宣城科地克科技有限公 司 | 50百万ドル | 98.3 | — | — | フッ素系製品の製造・販売 |
| | | 合計 | 431 | 97 | |

Ⅱ | 業績見通し・今後の動向

セグメント別業績予想(連結)

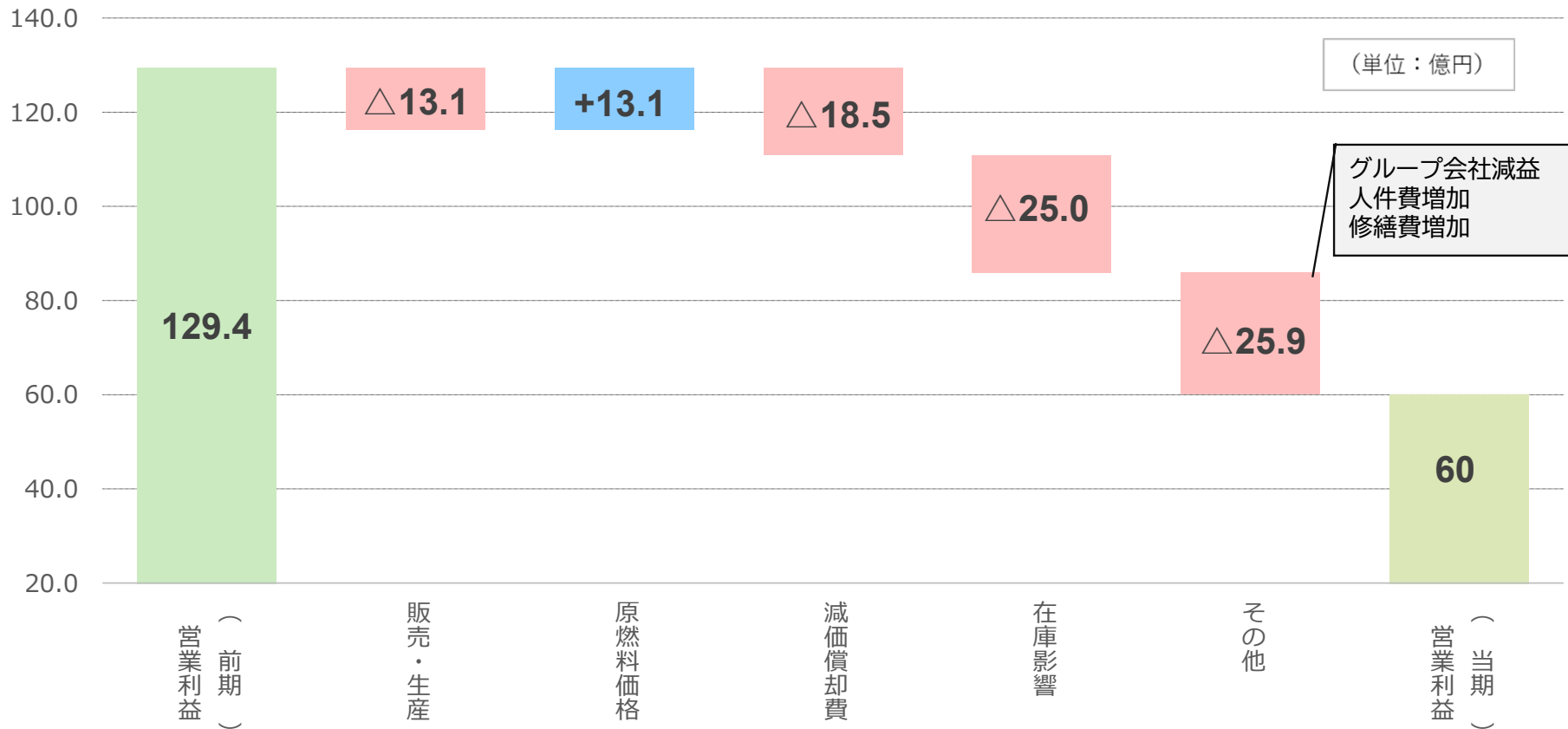
(単位：億円)

| | 売上高 | | | 営業利益 | | |
|-------|--------|--------|-----|--------|--------|-----|
| | 2023/3 | 2024/3 | 増減 | 2023/3 | 2024/3 | 増減 |
| 基礎 | 94 | 97 | 2 | 3 | 3 | △0 |
| 精密 | 639 | 627 | △12 | 114 | 46 | △68 |
| その他※ | 53 | 59 | 5 | 11 | 11 | △0 |
| 合計 | 786 | 783 | △3 | 129 | 60 | △69 |
| 設備投資費 | 166 | 185 | 19 | | | |
| 減価償却費 | 76 | 95 | 18 | | | |
| 研究開発費 | 11 | 15 | 3 | | | |

【業績予想前提】
為替レート：135円/\$

※その他には、鉄系事業、商事事業、
設備事業および連結調整を含みます。

連結営業利益差異分析(2023/3 対 2024/3)



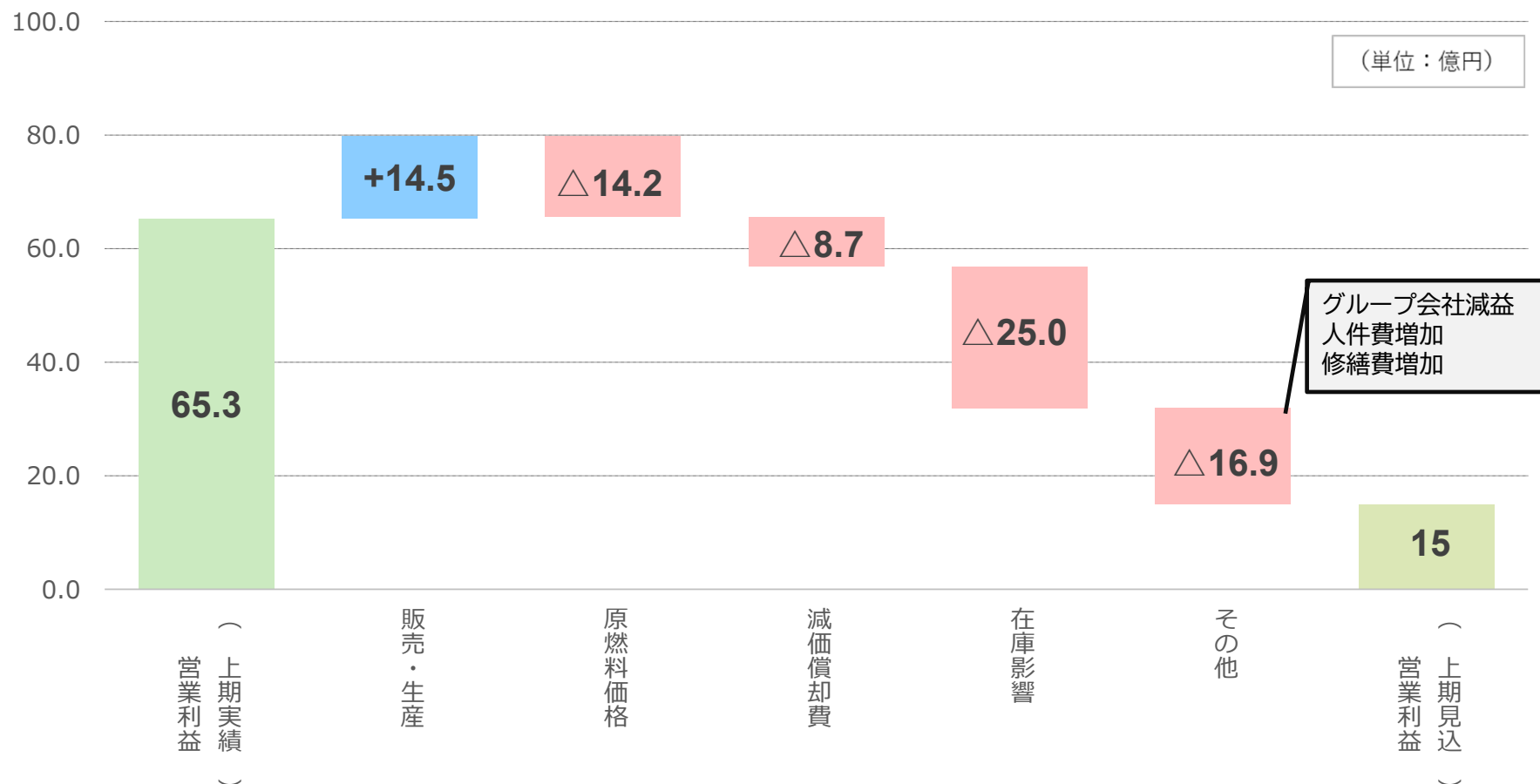
セグメント別業績予想(連結) 上上比較

(単位：億円)

| | 売上高 | | | 営業利益 | | |
|------|------|------|-----|------|------|-----|
| | 上期実績 | 上期見込 | 増減 | 上期実績 | 上期見込 | 増減 |
| 基礎 | 41 | 45 | 3 | 0 | △1 | △1 |
| 精密 | 303 | 289 | △14 | 60 | 12 | △48 |
| その他※ | 28 | 29 | 0 | 4 | 4 | △0 |
| 合計 | 373 | 363 | △10 | 65 | 15 | △50 |

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

連結営業利益差異分析(前上期実績 対 上期見込)



セグメント別業績予想(連結) 上下比較

(単位：億円)

| | 売上高 | | | 営業利益 | | |
|--------------|------|------|----|------|------|----|
| | 上期見込 | 下期見込 | 増減 | 上期見込 | 下期見込 | 増減 |
| 基礎 | 45 | 52 | 7 | △1 | 4 | 5 |
| 精密 | 289 | 338 | 49 | 12 | 34 | 22 |
| その他※ | 29 | 30 | 1 | 4 | 7 | 3 |
| 合計 | 363 | 420 | 57 | 15 | 45 | 30 |
| 設備投資費 | 86 | 99 | 13 | | | |
| 減価償却費 | 42 | 53 | 11 | | | |
| 研究開発費 | 7 | 8 | 1 | | | |

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

トピックス（主な設備投資の状況）

| 投資項目 | 投資内容 | 備考 |
|---|---|--|
| ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン(C ₄ F ₆) | 400t/年⇒600t/年 | ・2022年4月(400t/年) ・2024年10月(600t/年)予定 |
| 硫化カルボニル(COS) | 150t/年 ⇒ 200t/年 | ・2022年6月(150t/年) ・2024年秋予定(200t/年)※宣城Ⅲ期工事 |
| 六フッ化リン酸リチウム(LiPF ₆) | 5,400t/年 ⇒ 10,000t/年 | ・2023年秋頃完成予定 |
| 新規エッチングガス(KSG-14) | 150t/年 | ・2024年3月完成予定 |
| 宣城科地克科技有限公司 | I期工事(フッ化アンモニウム) II期工事(WF ₆ 、C ₄ F ₆ 、CF ₄) III期工事(COS、申請中) | ・I期工事:2023年3月完成、試運転中 ・II期工事:2023年末 完成予定 ・III期工事:2024年秋予定 |

トピックス(LiPF₆ライセンス契約締結)

当社は、2023年2月2日にMEXICHEM FLUOR INC.(以下「メキシケム社」との間)、リチウムイオン二次電池用電解液の原料であるLiPF₆の製造技術のライセンス契約締結を公表しました

契約の概要

メキシケム社が、ルイジアナ州にある同社工場の敷地内に建設する米国初となるLiPF₆製造設備に、当社の持つ製造技術をライセンス供与する。本契約の対価として技術支援の進捗に応じた技術支援料とロイヤリティを受領する(金額は契約により非公表)

メキシケム社について

多国籍企業Orbiaグループのフッ素事業を運営するKouraの中核企業であり、北米に垂直統合されたフッ素の供給源を保有し、さまざまな用途のフッ素系製品を世界中に販売している

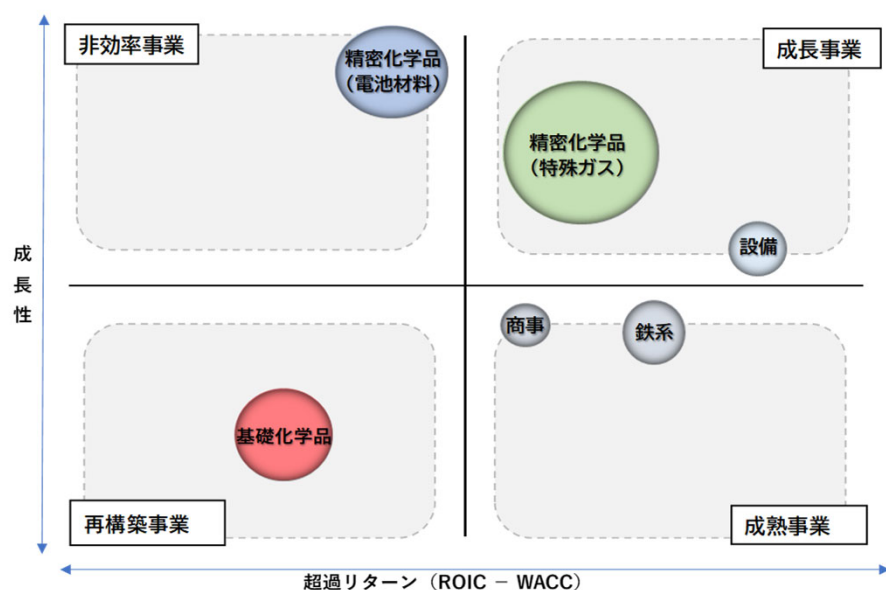
その他

本契約の締結により、北米における強固なLiPF₆供給体制を構築することで、電池バリューチェーンの発展を支援する

資本コストを考慮した企業価値向上策

ROICを活用した経営

各事業セグメントの立ち位置を把握し、事業に応じた対応策を講じる



【各セグメントの方向性】

精密化学品事業(特殊ガス)

積極的な成長投資により更なる事業拡大を進め、グループ成長の原動力へ

精密化学品事業(電池材料)

成長投資による事業拡大に加え、技術提携などにより収益性を改善する

鉄系事業

事業効率を改善し、更なるリターンを生む事業へ

設備・商事事業

効率化を図りつつ、主要セグメント成長を支える

基礎化学品事業

原料供給部門としての役割を担いつつ、構造改革を含めた事業再構築を検討

広報・IR室、人材開発室の設置

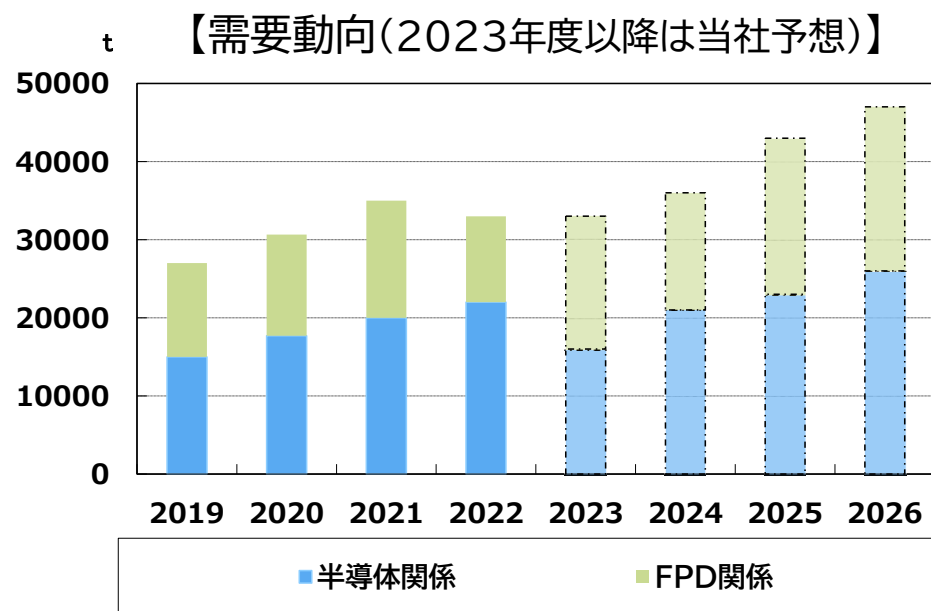
IR活動、人的資本投資の強化を目的とし、2023年6月29日付で広報・IR室、人材開発室の設置

※具体的な内容については、決定次第公表いたします

Ⅲ | 補足資料

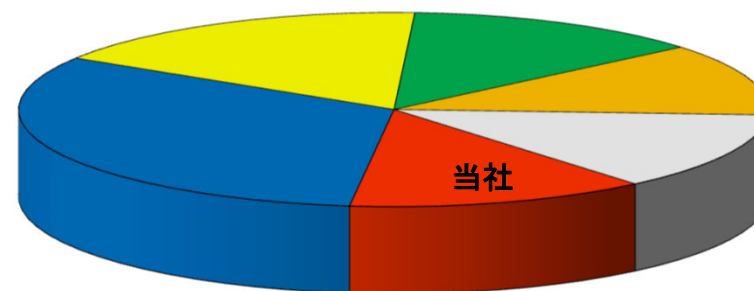
－主な製品の見通し－ 三フッ化窒素(NF₃)

- 半導体・FPD製造プラズマCVD装置のチャンバークリーニングガス
- 製造能力 3,700t/年



【予想シェア】

- ・当社シェアは1割強
- ・大手半導体向けシェアは約2割

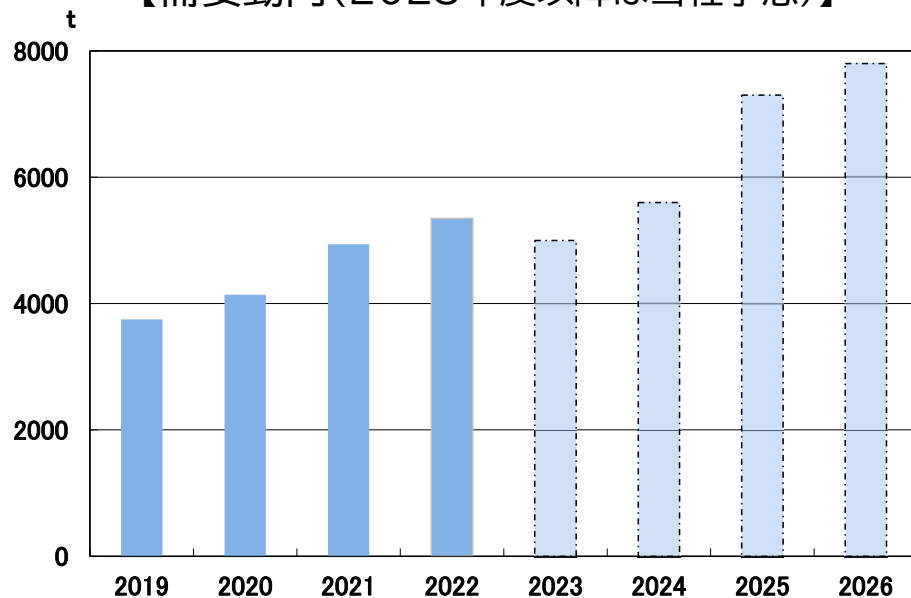


■ 当社 ■ A社 ■ B社 ■ C社 ■ D社 □ その他

–主な製品の見通し– 六フッ化タンゲステン(WF₆)

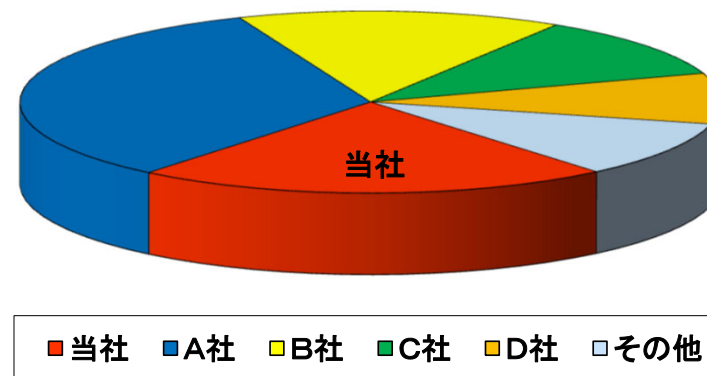
- 半導体用配線材料ガス
- 製造能力720t/年(2016.11) ➡ 910t/年(2018.8) ➡ 1,400t/年(2019.10)

【需要動向(2023年度以降は当社予想)】



【予想シェア】

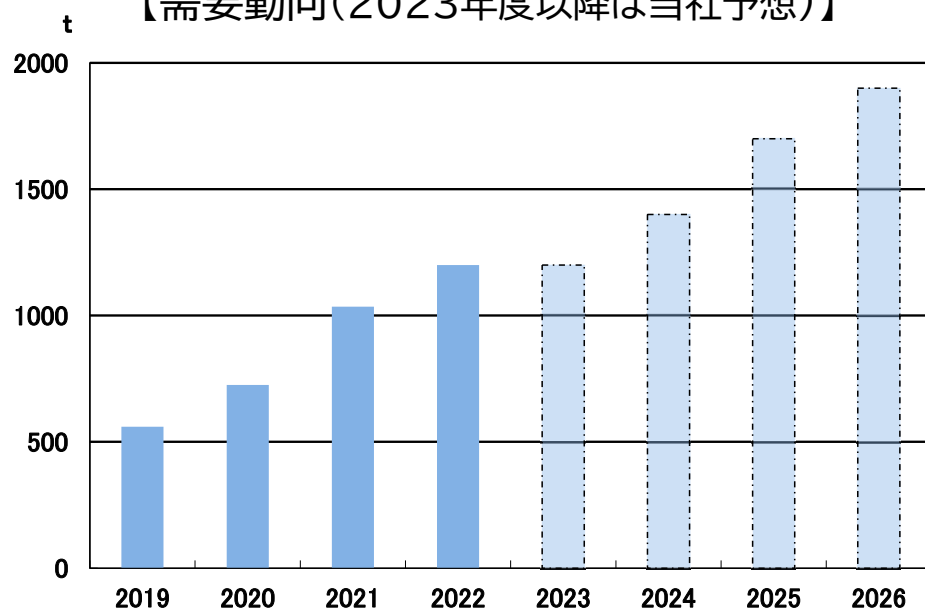
・当社シェアは3割弱



–主な製品の見通し–ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン(C₄F₆)

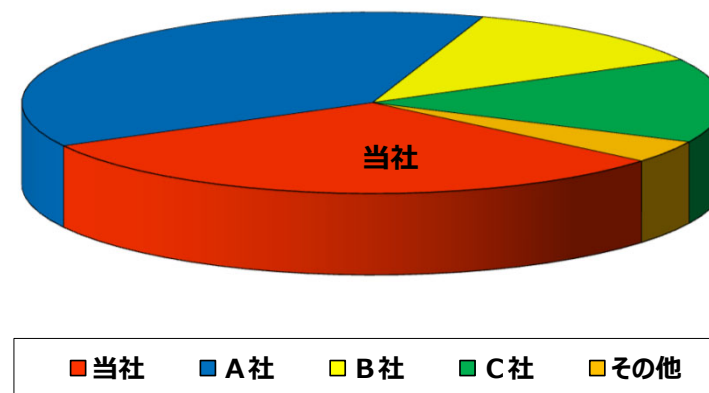
- 半導体用エッチングガス。
- 製造能力 260t/年(2019.12)➡400t/年(2022.4)➡600t/年(2024年10月予定)

【需要動向(2023年度以降は当社予想)】



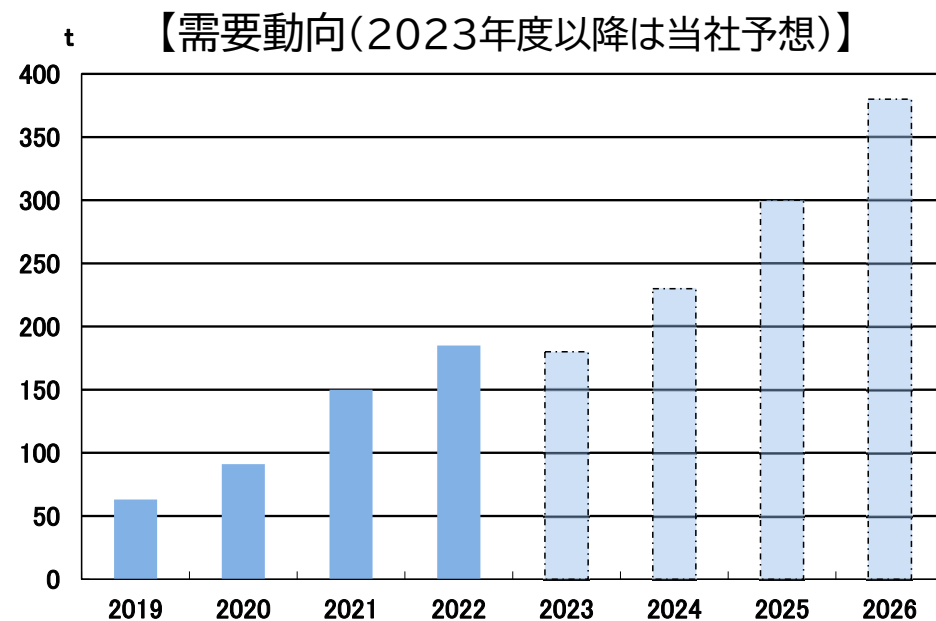
【予想シェア】

- ・当社シェアは約3割
- ・3D-NANDの多層化が進み、需要増加



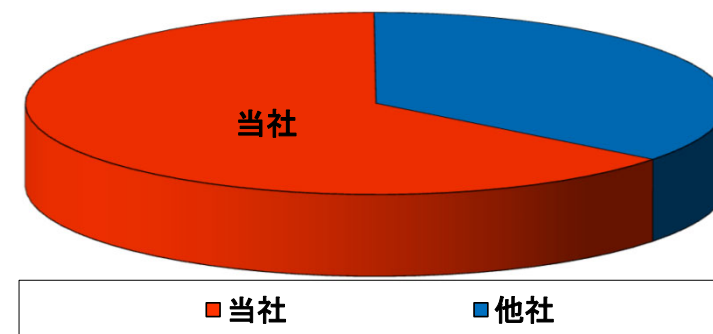
－主な製品の見通し－硫化カルボニル(COS)

- 半導体用エッチングガス。
- 製造能力 80t/年(2019.10) ➡ 150t/年(2022.6) ➡ 200t/年(2024年秋予定)



【予想シェア】

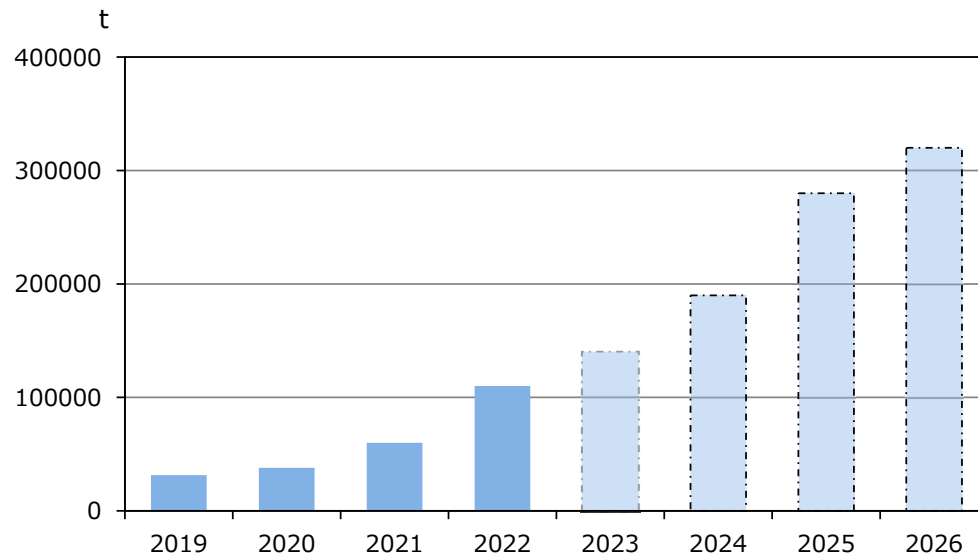
- ・当社シェアは6割以上
- ・3D-NANDの多層化が進み、需要増加



ー主な製品の見通しー六フッ化リン酸リチウム(LiPF₆)

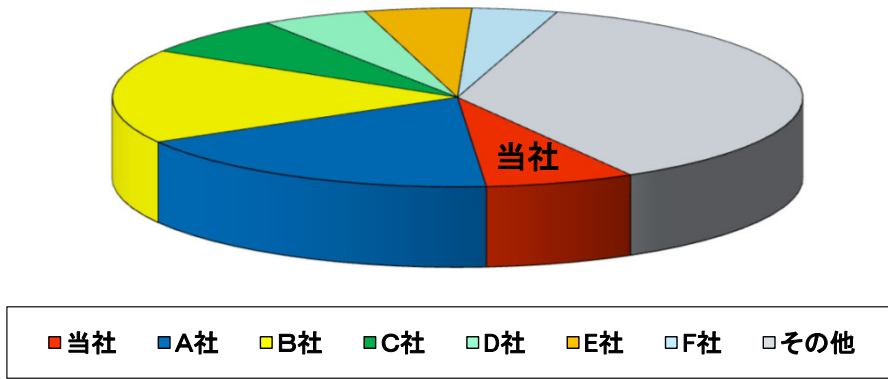
- リチウムイオン二次電池の材料である電解質
- EV等の車載向け需要が本格化
- 製造能力5,400t/年 ➡ 10,000t/年(2023年秋予定)

【需要動向(2023年度以降は予想)】



【予想シェア】

車載用電池市場において、
日本7割、米国4割、欧州1割のシェア
車載用は電池特性、安全性等の要求が強く
高品質のLiPF₆が必須



– 海外生産拠点について – 関東電化ファインプロダクツ韓国(株)

□ 所在地

大韓民国忠清南道天安市

□ 事業内容

半導体用特殊ガス類の製造・販売

□ 生産品目

- ・硫化カルボニル(COS)
- ・四フッ化炭素(CF₄)
- ・三フッ化塩素(CIF₃)



—海外生産拠点について— 宣城科地克科技有限公司

□ 所在地

中華人民共和国安徽省宣城市

□ 事業内容

半導体用特殊ガス類の製造・販売

□ 生産品目

I 期工事

- ・フッ化アンモニウム

II 期工事

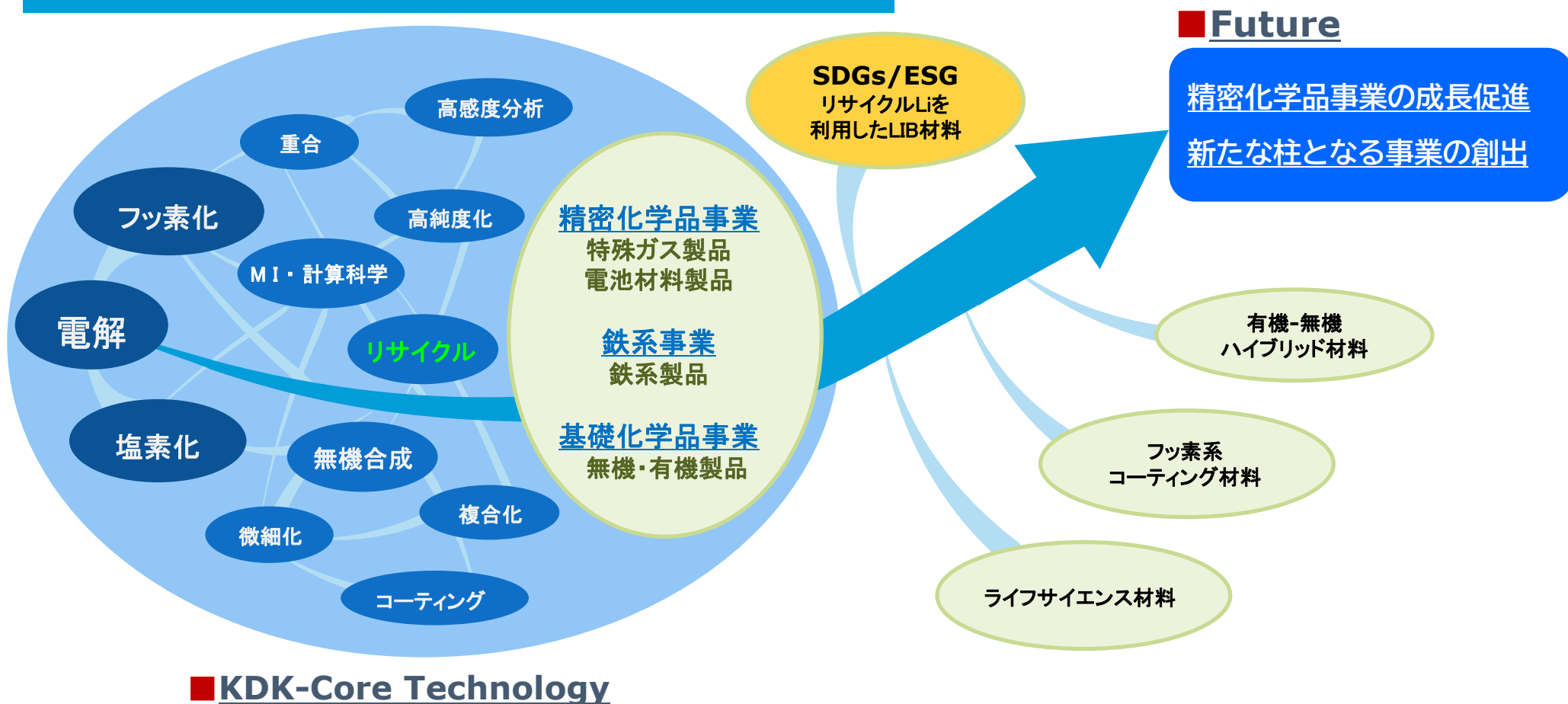
- ・六フッ化タングステン(WF6)
- ・四フッ化炭素(CF4)
- ・ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン(C4F6)

III 期工事(申請中)

- ・硫化カルボニル(COS)



当社技術と事業方向性



事業セグメント

| 名 称 | | 内 容 |
|-------------|----------|--|
| 基礎化学品 事業 | 無機製品 | か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等 |
| | 有機製品 | トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ビニリデン、シクロヘキサノール等 |
| 精密化学品 事業 | 特殊ガス製品 | 六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タンゲステン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、モノフルオロメタン、硫化カルボニル、五フッ化ヨウ素、KSG-14等 |
| | 電池材料製品 | 六フッ化リン酸リチウム、ホウフッ化リチウム等 |
| 鉄系事業 | 鉄系製品 | キャリアー、マグネタイト、顔料、鉄酸化物等 |
| 商事事業 | 関電興産(株) | 化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店業務等 |
| 設備事業 | (株)上備製作所 | 工場プラント建設、工場設備保全工事等 |

注意事項

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。